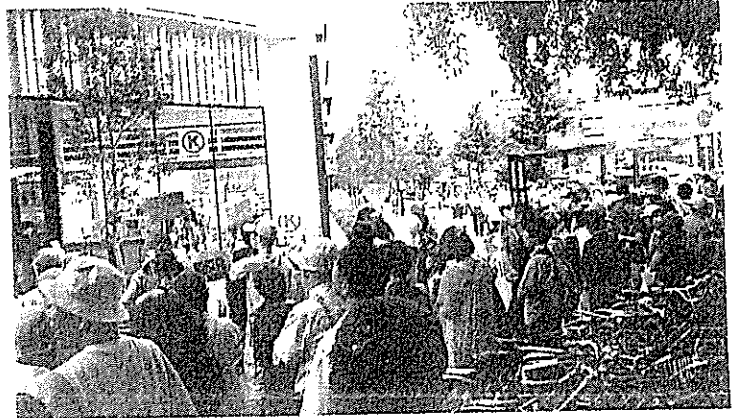


脱原発の金曜日行動に参加

石川勇吉

毎週金曜日に名古屋の関電東海支社前で行われている脱原発の行動に、8月3日、参加してきました。

開会の6時前には既に6～70人が集まり、6時30分頃には150から200人ほどに。その後も続々と増えつづけ、最終的には「最高の850人」(『愛知民報』)になりました。



場所は交差点の歩道上ですから、参加者は通行人の邪魔にならないように細長く通路を確保しつつの行動。日の丸を掲げた右翼がハンドマイクで妨害していましたが、かき消されていました。

シュプレヒコールは「原発いらない」「再稼働反対」と、「命を守れ」「子どもを守れ」です。合い間に行われるマイクからの訴えでは「野田首相やめろ」なども聞かれますが、シュプレヒコールではそうした政治的アピールはありません。それが行動を継続させ、参加者数を拡大しつつある要因ではないかと思いました。

私の青春時代と異なるシュプレヒコールに戸惑いつつも、これからも参加しようと思いました。